

月刊

語学のススメ新聞

9月号

Hello!! from Bangkok!! ~ Chiko's column ~



みなさん、こんにちは。いかにお過ごしでしょうか。バンコクは相変わらず、ムシムシした日が続いています。さて、私は夏期休暇を取得し、先日スペインへ行ってきました！実は、スペインで友人の結婚式に出席してきました！新郎はスペイン人、新婦はブラジリアン・イタリア人です。どちらも今となっては友人なのですが、初めは新婦とUKで知り合い、友達になりました。彼女は、ブラジルの母語ポルトガル語、もちろんイタリア語、さらにスペイン語、英語がペラッペラです！彼女とは、私の大学院時代に住んでいたロンドンで一緒に働き、友人となりました。私は、大学院に通う傍ら、夜はワインバー（バーというよりピストロ）で働いていました。彼女はそこのソムリエだったので、彼女から多くのワインを教わりました。働いていたワインバーはナチュラルワインの専門店です。みなさんナチュラルワインをご存知ですか？ナチュラルワインとは、自然派のワインです。自然派という、オーガニックやビオディナミワインを思い浮かべる方がいるかも知れませんが、簡単にいうと、ナチュラルワインは天然酵母で作られ、防腐剤や保存料が一切使われていません。一方、オーガニックやビオディナミワインは自然派は自然派ですが、少量保存料等が使用されている場合があるという違いがあります。いずれにしても、健康にもいいし、美味しいし、料理にも合うし、良いことづくめのワインです！彼女や他のソムリエたちの下で一緒に働き、多くの知識とワインの種類を学ぶことができました！今では私もすっかりナチュラルワ

インの虜に・・・さらに、ナチュラルワインは二日酔いになりにくいとも言われていて、飲み助の私にはぴったりです！みなさんも是非、試してみてください。最近では日本でもかなりたくさんの種類のナチュラルワインが置いてあります！日本産のナチュラルワインも世界でかなり認められるようになってきていますので、試しやすいかと思います！さて、結婚式ですが、スペインのマドリッドから車で3時間ぐらいいのとってもなかなか場所で行われました。そこはアップルサイダー（お酒です！）が有名で、結婚式では、ずっとサイダーを飲んでいました。このサイダーは全く甘くなくさっぱりと飲むことができ、どんどん飲めてしまうので、少し危ないですがとっても美味しかったです。注ぎ方が変わっていて、

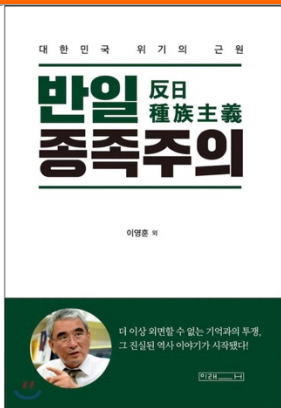
高いところからコップにこぼしながら一気に注ぐのが伝統です！そのサイダーのつまみにあるのが、何と言ってもスペインの代表的な食べ物「ハモン・セラーノ」です！会場にはブタの脚一本用意されていて、みんな食べまくってました！もう絶妙な塩気と少し溶けた脂身がたまらない♪ さらにチーズや、タバスのチーズコロッケを食し、みんなお祝いモードでダンスがスタート！もうこのダンスが本当に凄いです。まず、一次会で乾杯、スピーチ等日本の結婚式と同じように始まるのですが、ダンスが始まってからは、みんな大騒ぎ！場所を移動して、野外のテントの下で踊りまくり、結局式が始まったのが午後4時、終わったのが翌日の朝6時でした！30代のChiko朝まで踊りまわりました！でも、もう朝にはクタクタ。本当に歳を感じました（泣）朝6時からホテルのチェック



アウト12時ギリギリまで睡眠をとり、それから帰国までの2日間はバルセロナの友人宅に泊まり、念願のサグラダファミリアを見に行きました！もう圧巻！教科書で見たあの実物が目の前にあり、感動しました！そんなこんなでバタバタと過ぎた夏期休暇でした！現在は新学年の新学期が始まり、毎日の現実の世界に戻っているChikoです！今年は2年生、3年生、4年生のクラスを担当します。新しい学生と出会い、まだ少しドキドキ緊張気味ですが、スタートダッシュしていきます！みなさん、今月も、笑顔で乗り切りましょう！ Chiko

クアアウト12時ギリギリまで睡眠をとり、それから帰国までの2日間はバルセロナの友人宅に泊まり、念願のサグラダファミリアを見に行きました！もう圧巻！教科書で見たあの実物が目の前にあり、感動しました！そんなこんなでバタバタと過ぎた夏期休暇でした！現在は新学年の新学期が始まり、毎日の現実の世界に戻っているChikoです！今年は2年生、3年生、4年生のクラスを担当します。新しい学生と出会い、まだ少しドキドキ緊張気味ですが、スタートダッシュしていきます！みなさん、今月も、笑顔で乗り切りましょう！ Chiko

元気が出る!! 今月のおすすめの一冊

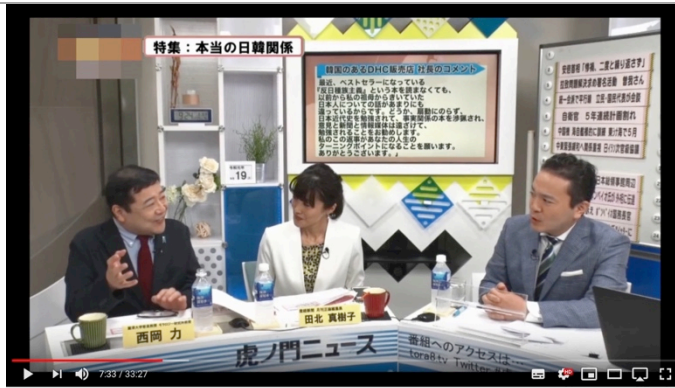


みなさんこんにちは！少し朝晩は秋の気配も感じられるようになって来ましたね。ただ季節の変わり目には体調を崩しやすいので、気をつけていきたいですね。さてこのところ、韓国・北朝鮮・香港の話題で地上波もNetも大騒ぎですよね。文在寅はGSOMIAを破棄して、今後は日米韓の軍事同盟に大きな亀裂が入ってしまったら、今後は北朝鮮側について南北統一…、その後は中国に飲み込まれる？また北朝鮮はロケットばかり飛ばしてくるし、中国共産党は香港のデモを軍事力で制圧しそうだし、日本領海の尖閣諸島には(中国の領土だからという理由で)中国海警局の武装船が連日侵入してくるし…、最近では物騒で物騒で仕方ないです。僕が思う

子孫を残していく。このようなことが当たり前のように行われていました。このことは中国人により満州民族に対して行われ、満州民族は消え去りました。今は、同様のことがチベットや東トルキスタンで行われており、多くの男が殺され、中国人男性がチベットや東トルキスタンに移り住み、その地の女性と交わることで混血児を残しています』（『日本の誕生』長浜浩明著、pg.30）。

には、日本は日本の考え方を通しても国は守れないと思います。当校に来ている外国人の先生方と話していても感じますが、外国人は日本人とは違う考え方なので、日本人の道徳や倫理を持ち出したところで、相手が納得するはずなんてないわけですよ。相手の価値観に立って、相手が「これはやめといたほうがいいな」とか「仲良くしないといけない」と感じさせないと話になりません。中国共産党の父、毛沢東は「政権は銃口から生まれる」という方針を実践しましたし、今だって大差ないです。内モンゴル、チベット、新疆ウイグル(東トルキスタン)では、ジェノサイド、民族浄化政策がとられています。文字にしてみると「ああ、かわいそうだね」とサラリと読み過ごしてしまいそうになりますが、実際にはこれほどオゾマシイことはありません。食事中の方は読まないでもらいたいのですが、、『シナの歴史を見ればわかるように、異民族同士の戦いが繰り返されて来た世界では、ある民族を別民族が襲い、戦いに敗れば、負けた民族の男性は子供に至るまで皆殺しにされ、男達は若い女性を戦利品として獲得し、交わり、

このように中国共産党には人権なんて概念自体ありません。話を戻すと、つまるところ「力=正義」なんです。だとしたら、その論理の中で日本も対応しないと中国共産党と対話できません。中共とまともな対話を可能にするには、日本が「経済力と軍事力」で大国になること。それで初めて中共も「日本の言うことも聞いてみようか」となるのです。「軍事的に侵略行為をして来たら、おたくの船でも飛行機でも基地でも攻撃するよ」「経済的にも同盟国と協力して対抗するよ」と具体的な行動を示すことです。そうすれば、中共は「日本と争っても得になることなんてないだから仲良くしよう」となるわけです。残念ですが現実問題、悲惨な戦争を回避するには、小さな紛争を常に抱えながら、平和を自分たちで勝ち取らないといけないと思います。厄介な国はまだ隣にいます。韓国です。韓国政府は反日政策を取っているし、一旦決まった国際条約も守らない…とか、先進国としての振舞い方じゃありません。もうこれ以上韓国「政府」とは付き合えない…と思ってしまいます。ただ一方では、韓国国内では国民感情は反日一辺倒ではないようなのです。逆に今の新しい現象としては「アンチ反日」になって来ていると、西岡力さんは言います。マイクを持つ



【西岡力】本日の日韓関係 新聞テレビの情報、ネットの意見は聞くな。事実を調べなさい。【反日種族主義】

て、「慰安婦像を撤去しろ」「徴用工像を建てるな」とか「日本は敵じゃない、味方だ」という人々が出て来た。もちろん以前から、「いい日本人がいた」「日本時代は良かった」「柳生金語楼の落語は面白かった」「宮本顕治は演説がうまかったんだぞ」とか、悪いことばかりでなかったことは統治時代を知ってた人は知ってたんです。金詠三大統領も金大中大統領も、自分が大統領になったら日本人の先生を探して、「先生がお前は能力があるから頑張れと言ってきてくれて励ましてくれたから大統領までなれました」と感謝している…、そういう側面もあるわけです。けれどこれまで韓国では、日本の統治のことがあったので、公然と親日を言う人がいなかったのです。

しかし、親北派と自由民主主義派が激しく争っている中で、自由民主主義派は、親北派・文政権が利用している反日に騙されたら国が滅びると言う強い危機感を持ち、「日本は敵ではない」「日本は準同盟国だ」「嘘の反日をやめろ」という声を公然とあげたのが、今の状況です。実際に、8月15日、反安倍デモ、NO安倍というプラカードが掲げたデモが大規模に行われたが、一方ではその日の昼間、保守派のデモもあって、そっちのが人数が多かったんです。そこでは「日本は敵じゃない」「文在虎の反日はおかしい」という声が聞かれたし、太極旗も日の丸も星条旗も振られていた。この保守派のデモには10万人集まったのに対して、反安倍デモには5万人。それなのに日本のメディアも含めて報道していないし、韓国の地上波メディアに至っては10万人以上集まったのに3,000人とか言っている。この「報道しない自由」現象は韓国でも同様で、YouTube放送などのNetメディアをみて初めて本当のことがわかるんです。

7月10日に販売されて1ヶ月間で現在6万部を超えるベストセラー（韓国では6万部を超えることは稀）となっている『大韓民国危機の根源～反日種族主義』では、前ソウル大学教授で代表執筆者の李業薫(イ・ヨンフン)は、「勇気をもって、韓国の反日文化権力に体を持って突進するんだ」と書いている。彼は実証主義の経済史学者で、韓国政府のつく沢山の嘘を明らかにしています。

①経済史の立場から見ると、土地の所有権が確立したのは日本の統治時代。それ以前は1つの土地に複数の所有者がいて、私有財産が確立していなかった。台帳を全部調べると、土地調査事業の後と前で、日本人の土地所有は増えていない。土地調査事業で韓国人の土地が40%奪われたと(教科書に書かれている)のは嘘だ。

②日本の統治35年間を調べると経済成長していて、人口は2倍くらいに増えていくが、人口増加率よりも経済成長率の方が上だった。

③日本にたくさん米が輸出されたことを「米の収奪」だというのが、そうではなく、資本主義化されたので高い米を日本に輸出でき、その売り上げで出来たお金で韓国は近代化できた。麦なども食べていたというのがそれは貨幣経済の結果であって、収奪ではない。

④慰安婦問題については1章書いてきちんと議論。実は朝鮮王朝時代にキーセンという職業があって、身分において女性の性が搾取され、キーセンの女性に対しては両班階級の人には自由に性を搾取することができた。これは身分による性奴隷であった。

⑤(これを改善すべく)日本が朝鮮統治を始めて公娼制度を導入し、朝鮮社会にも広まっていった。この公娼制度というのは貧乏な人たちがこの職業をせざるを得ない場合に、搾取されないようにするものであった(私娼は禁止)。警察が監視している地域でのみ、17歳以上の登録済み者だけに許可され、そのためには免許が必要で、本人が警察に行き「私はやりたいです」と言わなければ許可はもらえなかった。年齢に嘘をつけないように戸籍簿本も必要だったし、未成年の場合は親の同意書も必要で、許可された場合、月の初めと終わりに、本人がいくら借金が減ったのかということ、本人と業者がハンコを押す帳簿を作らなければいけなかった。

⑥この公娼制度を戦場に持って行ったのが慰安婦制度だった。独立

した後の韓国軍にも在韓米軍のためにも同様の制度があった。女性が貧困のために人権を侵害されたことは事実だが、日本の統治時代の、なおかつ戦場であったことだけを抜き出して、そこだけが性奴隷であったということはおかしい。全体を見なければならぬ。

⑦今問題になっている朝鮮人戦時労働者の問題について、イ・ウヨンという専門家が書いていて、無賃労働はなかったことが証明されているし、韓国の教科書に出ていた「いわゆる」徴用工写真も、元になっているガリガリに痩せた男性の写真は、実は、北海道の旭川新聞に載っていた写真で、日本人男性が犯罪組織に拉致され奴隷労働をさせられ、解放されたらガリガリだったという写真である。イ・ウヨンさんはこの嘘を指摘しただけではなく、8月13日にテジョンで徴用工像の設置式に乗り込んで行って、慰安婦像・徴用工像の設置に反対。仲間と乗り込んで行って、向かい側でマイクを取って「日本人がモデルの徴用工像なんか建てるな!」といった。韓国の国立博物館からこの写真は降ろさせたり、教科書については韓国の文部省が「間違いでした。白いシールを貼ります」とまで言わせ、そして徴用工像に反対する活動の中で、塩酸を顔にかけてやるという脅迫を受けていたが、彼は「私は止めません。韓国という国を救うためにはこの道しかありません。日本のためにやっているんじゃない」と話したという。

そもそも韓国はずっと反日をやっていたんじゃないんです。1965年に条約を結んで以来、**反共の反日**はあった(74年の文世光事件に代表されるように、「日本が共産主義に甘い」「もっと朝鮮総連の取り締まりをしてほしい」という反日)。ところが、全斗煥大統領(在任80-88)になって、82年の教科書問題の時に歴史問題を使った**功利的な反日**が始まった。それは反共として戦う韓国軍の近代化資金の援助を日本に求めるためだった。92年の慰安婦問題も、当時、盧泰愚政権(88-93)は日本から技術支援が欲しかった。韓国は今も同じですが、日本の先端部品などを輸入してそれを組み立てて世界中に売っているのだから、対日赤字がなくなる。だから先端技術を日本から韓国にくれと…。その交渉を有利にするのに、朝日新聞がやった誤報の慰安婦問題を利用したわけです。このようにして**功利的な反日**、利益を得るための反日が繰り返されていくのです。そして金泳三政権(93-98)になってから、もう先進国になって日本から経済協力をもらう立場ではなくなったのに、竹島に韓国海軍を送る反日をやったんです。それは国内の支持率が下がったためだった。支持率を上げるための反日、功利的な利益を上げるための反日を行なった。じゃあ、なぜ反日をやれば支持率が上がるのかというと、80年代以降、著者の言っているこの**種族主義的な反日**、言い換えれば、差別主義的な反日、事実に基づかない反日が、北朝鮮に繋がる左派によって利用され広められて行ったからです。そしてついに、反日が反日だけにとどまらず、**反韓**までいってしまったのです。

反韓思想とは、韓国という国は生まれた時から汚れた国なんだ。なぜなら親日派が主流になったからだ。李承晩大統領はアメリカで外交活動で独立運動をやったけれども、銃一発打てなかった。帰ってきて国づくりをしたけれども、その周囲にいた経済官僚も警察官も軍人もみんな親日派だ。61年にクーデターを起こした朴正熙(パクチョンヒ)将軍は日本の陸士出身じゃないか。だから慰安婦問題もきちんと解決しなかったじゃないか。韓国は表面上豊かになったかもしれないけれど汚れているんだ、という歴史観が広まって行ったんです。金日成将軍は銃を撃っていた。そして、朝鮮の北を解放して親日派を徹底的に処断した。だから少し貧乏かもしれないが、民族主義の観点からすると正当性は北にあり、というのがいわゆる主体思想派というのです。こういう民族主義を使ったから、冷戦が終わった後も韓国の左翼は割れなかったのです。

このように**韓国の反日**は、**反共の反日**から**功利的な反日**に変容し、今は**親北の反日**になっています。韓国を滅ぼしかねない親北の反日とは、事実に基づかず差別主義的であり反日種族主義なんだ。これと戦わないと韓国はおかしくなってしまうとして、**アンチ反日**が今韓国の保守派の中で起きているのです。このような構造があるということを知った上で、韓国情勢を見るのが大切ではないでしょうか。

今、キリスト教会中心に退役軍人や家庭の主婦たちが、文在寅政権下野を求める署名をやっている、6月から始まって8月半ばまでに300万人集まったんです。10月までに1000万集めて、11月に香港のような大集会をするという予告をしています。「全体主義の元に入ったら信仰に自由がなくなる。だから立ち上がらなくちゃいけない。反日で騙されてはいけない」といって、韓国人が今目覚め始めた。韓国ではNetテレビが多く、50万くらい登録されているYouTubeテレビが3~4つあって、今、地上波を見なくなっています。そこはスタジオを持っていて、記者がいてニュースをやっている、その人たちが太極旗デモの現場で取材して生中継をしている。そんな保守派の韓国人は、日韓関係を「韓国国内の政治的な内戦」と捉え、北朝鮮とくっつかずに自由民主主義を守ろう、中国共産党の全体主義体制から自由民主主義を守ろうとしているのです。

まとめ小林義和